

第23回議会報告会 報告書



【開催日】

10月27日	住吉会館
10月28日	川尻会館
10月30日	片岡会館
10月31日	北区自彊館

第23回議会報告会を終えて



10月27日から10月31日の間、4地区で開催しました議会報告会にご参加いただきありがとうございました。

幅広い年代の皆さんからのご意見やご要望は、今後の町政のチェック機関としての議会活動に活かしていきたいと考えます。

報告内容に対する意見や会場のレイアウトなどの意見もありましたので、次回の開催に向けて検討していきたいと思えます。

いただいたご意見やご質問について、報告書をもって回答させていただきます。

今後とも町議会に対するご理解とご協力をお願いします。

吉田町議会議長 増田剛士

【目次】

1	アンケート集計結果	1 P
2	質問・意見のまとめ	
(1)	報告に対する質問・意見	10 P
(2)	意見交換	
A	夜間の防災訓練について	12 P
B	“ぎゅっと”カーよしだについて	15 P
(3)	自由意見	17 P



1 アンケート集計結果

◎ お住まい (参加者名簿) (人)

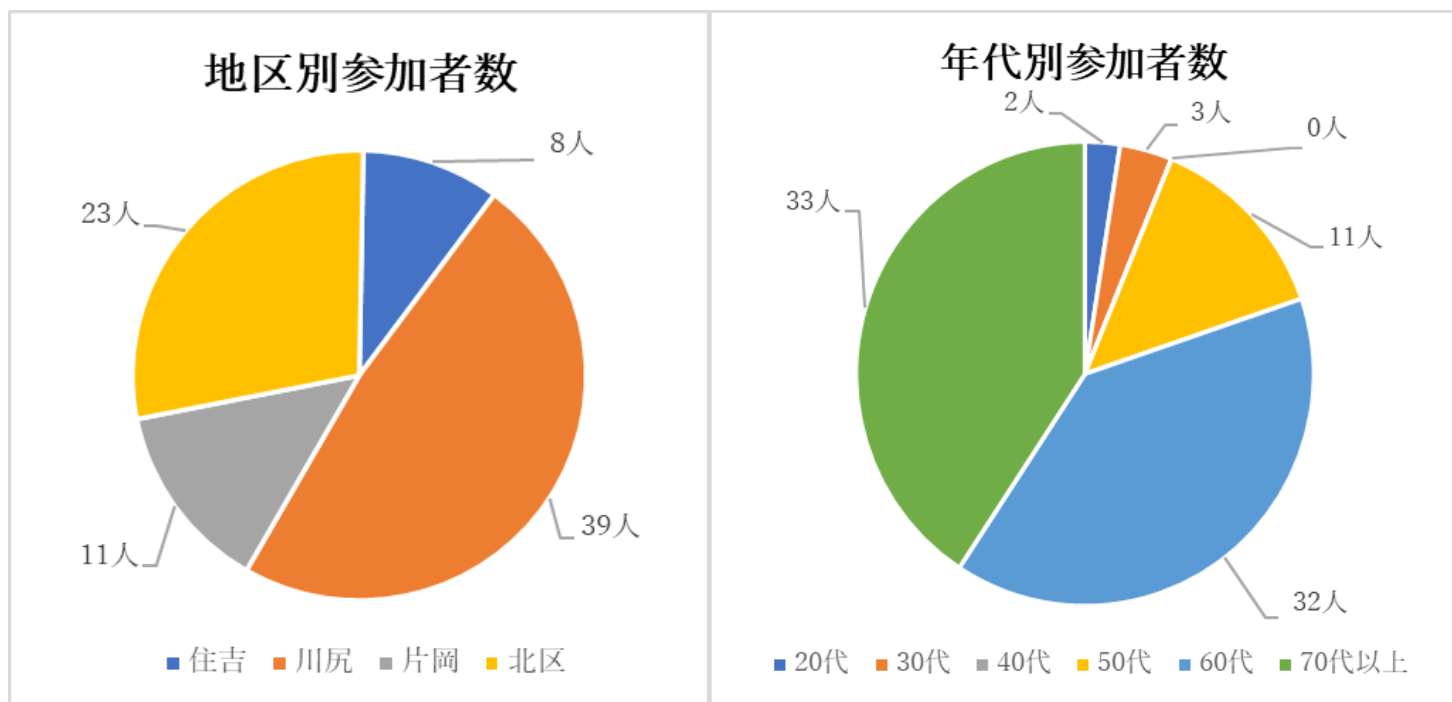
地区	住吉	川尻	片岡	北区	町外	不明	合計
人数	8	39	11	23	0	0	81

◎ 年齢 (アンケート集計) (人)

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
人数	2	3	0	11	32	33	81

問1 報告会はどこで知りましたか (複数可) (人)

町回覧文書	町HP	LINE	知人・友人	議員	その他
45	1	2	6	16	20



問2 今回の議会報告会についていかがでしたか。

項目	(1)大変良かった	(2)良かった	(3)良くなかった	(4)どちらとも言えない	合計
人数	7	58	5	11	81

【住吉】

- ① 大変良かった
 - ・自分の住む町の事もっと関心をもつ必要を感じました。
 - ・近くで話を聞けたのと、こちらの想いを伝えられたのがよかったです。
- ② 良かった
 - ・多くの意見が出てよかった。
 - ・参加者が少ないのが残念だった。報告会が行われるということは大事だと思う。議員さんありがとう。
 - ・「～のようにしている」とか「進めているような」あいまいな答だけでなくどう実行していく等の説明がほしい。
 - ・議員の皆さんの意見を直接伺うことが出来た。自分の意見を議員の皆さんに聞いていただけ良かった。
- ③ 良くなかった
 - ・なし
- ④ どちらとも言えない
 - ・なし



【川尻】

- ① 大変良かった。
 - ・なし
- ② 良かった。
 - ・いろいろな意見が聞けた。
 - ・議会活動の一部を知ることができた。
 - ・話すことの大切を考える。(多様な意見がある)
 - ・たくさんの意見が聞かれたこと。
 - ・大体のことはわかりました。
 - ・知らなかったことを知れたのとずっと思っていたことを少し伝えられたのでよかったです。
 - ・わかりやすくてよかった。
 - ・色々な意見が聞けたこと。
 - ・議員さんと話ができてよかった。
 - ・いろいろな意見が出ていた。
 - ・普段関りが無い町議員さんたちと机を囲んで話ができたのは大変良かった。議員さんを少し身近に感じました。
 - ・議員の方に直接意見をうかがえる機会はとても貴重だと思った。
 - ・前年比での報告をもらい理解できた。

- ・いろいろな意見が聞けました。
 - ・今まで知らなかったことや、グループ内意見を聞けて大変勉強になりました。
 - ・やや時間が不足。
- ③ 良くなかった
- ・通り過ぎていたが見るきっかけになった。
 - ・グループの人数が多すぎてグループに分ける意味がない、聞き取れない。
 - ・自由に発言することができない感じがした。いろいろな考えで課題が明確になるので、そこが大切だと思う。
- ④ どちらとも言えない
- ・進行が速すぎて理解できないことがあった。
 - ・議会報告は「広報よしだ」、「議会だより」をみればわかるので、別の角度からの報告が聞きたかった。
 - ・人数が多い（グループ単位）ので発言しづらかった。
 - ・内容が良くわからない。
 - ・少人数の意見を聞くことが大半でした。

【片岡】

- ① 大変良かった
- ・意見をくみ上げてもらう方法を知ることができた。
- ② 良かった
- ・議員と直接話し合えたこと。
 - ・意見が活発に行われた。
 - ・特に意見交換において様々な意見が出て活発な意見交換になった。
 - ・具体的な内容で解りやすかった。
 - ・議員さんと話し合う機会が無く、こうした場合には活動内容が知れたが、自らの要望には理由があって…。
- ③ 良くなかった
- ・なし
- ④ どちらとも言えない
- ・歳入歳出は今まであまり関心が無かったが、本日の報告会でこれから気を付けて見るようにしたい。



【北区】

- ① 大変良かった
- ・防災、ぎゅっとカーについて自分の意見が言えたり、皆様のご意見（自分では思いつかない）も聞けたから良かった。
 - ・問題点の意見が多かった。
 - ・防災訓練に対し、各参加者からの意見に対し、町の考え方を知ることができた。
 - ・議員さんから直接お話を伺えた。

- ・参加された方々の考えが聞けました。
 - ・町会の実際の様子が理解できた。
 - ・意見交換が活発にできた。
 - ・町の決算が良くわかった。議会の内容もよく分かった。
 - ・地域の方の意見を聞いた。
 - ・説明がわかりやすかった。
 - ・町がこれから取り組んでいくことなどを直接聞いて明確になった。
 - ・町のことが良く分かった。
 - ・会での内容が今までは書面だけだったので目を通すか通さないかだったが、話してくれるとわかりやすかった。
 - ・決算等全体像が理解できた。
 - ・定期的で良かった。
 - ・町民の方の意見が多く出ていた。
- ② 良かった
- ・なし
- ③ 良くなかった
- ・声が小さく司会者が何を言っているのかわからない。もっとテーブルにつく人数を少人数でやってほしい。(参加者 6 人に対し議員 2 人など)
- ④ どちらとも言えない
- ・なし



問3 今回の報告内容はいかがでしたか。

項目	(1)よく理解できた	(2)理解できた	(3)理解できなかった	(4)どちらとも言えない	合計
人数	7	57	4	13	81

【住吉】

- ① よく理解できた
- ・議会だよりを読んだだけでは理解できないことが理解できました。
- ② 理解できた
- ・なし
- ③ 理解できなかった
- ・なし

【川尻】

- ① よく理解できた
- ・なし
- ② 理解できた
- ・ぎゅっとカーよしだ、よくわかり、利用すべきだと思う。



- ・わかりやすかった。
- ・当日、資料を見ただけで精いっぱいの中身までは吟味できない。
- ・グループ討議が良かった。
- ・説明がわかりやすかった。
- ③ 理解できなかった
 - ・もう少しわかりやすく説明してほしい。
 - ・スポーツ関係の場所の安全管理にお金を使ってほしい。(グラウンド、体育館)
- ④ どちらとも言えない
 - ・取り組んでいる内容は理解できたが、委員会として考え・提案がない。
 - ・限られた時間ですべてを理解するには時間がなかった。
 - ・参加した人にアピールを。ボリュームが多すぎるのでは。(報告内容)
 - ・細かい内容を理解できない。

【片岡】

- ① よく理解できた
 - ・町の計画において、小山城の整備等を考えているようだが、なぜ湯日川などは草ボウボウなのか。
- ② 理解できた
 - ・なし
- ③ 理解できなかった
 - ・なし
- ④ どちらとも言えない
 - ・なし

【北区】

- ① よく理解できた
 - ・なし
- ② 理解できた
 - ・難しい内容を自分と関わりが少ないものもあったが、細かく報告してくれ少し理解できた。
 - ・委員会活動が理解できた。
 - ・内容がわかりやすい。
 - ・うまくまとめてあった。
- ③ 理解できなかった
 - ・なし
- ④ どちらとも言えない
 - ・なし



問4 今回の意見交換テーマについてはいかがでしたか。

項目	(1)よく理解できた	(2)理解できた	(3)理解できなかった	(4)どちらとも言えない	合計
人数	11	56	2	12	81

① 夜間の防災訓練

【住吉】

- ・避難タワー・避難所への移動が困難な年寄りには自宅にとどまるしかない。強固で安全な防潮堤の早期完成を望む。(避難の必要なし)

【川尻】

- ・統一性がない、目的が不明確。
- ・夜間ということでライトの点検につながった。暗い中での通路を考えた。隣組の顔見せになった。
- ・よかったと思う。
- ・参加者に意見を求めるならば議員としてどう考えているのかの報告があれば意見が出しやすくなる。
- ・夜間訓練の反省点の一部を知ることができた。
- ・実際、高齢者、介護者をどのように避難させるか、隣組でも把握できないのではないか。
- ・中央小は川尻の避難先になっているが、川尻から向かっている人が少ない気がします。訓練も時間で集まって井戸端会議をするだけの地区もある気がする。

【片岡】

- ・今後の夜間訓練の問題点が浮き彫りになった。
- ・夜間参集訓練については、来年以後も実施するのであれば、時間をかけてやるべきだと思う。
- ・夜間防災訓練の目的があいまい。
(夜間であり、街灯等も点灯しない状況を設定していない)

【北区】

- ・夜間防災は今後の課題が多い。
- ・夜間訓練については理解できたし、より良い方策への意見も出た。

② “ぎゅっと” カーよしだ

【住吉】

- ・なし

【川尻】

- ・時間的に確実性に欠ける。
- ・利用客があまりなくて意見がなくて残念でした。
- ・利用方法を提案したらどうか。
- ・今後、子供の習い事に使用してみたいと思いましたが、アンケートに乗れなかつ



- た等の回答があったので一人で乗せるのが不安に思いました。携帯を持たせているので子供でも簡単に操作できるアプリやラインの活用等あればうれしいです。
- ・最寄りのJR（島田・焼津・藤枝）まで延線してもらいたいと思います。（静鉄は本数が少ないため）

【片岡】

- ・理解できた。
- ・ぎゅっとカーは利用していないので問題点が出てこなかった。
- ・駐車場をもっと目立つように。
- ・ぎゅっとカーよしだは今後も続けてもらいたい。

【北区】

- ・ぎゅっとカーについては実際に使用している人が少なく、私自身も知らない。どれだけの人が知っているか。費用補助がもったいない気もする。
- ・ぎゅっとカーの使用について理解できた。
- ・ぎゅっとカーを利用したことはないが、新たな利用方法を聞くことができ登録したいと思う。

③ その他

【住吉】

- ・なし

【川尻】

- ・いろんな意見が出てよかった。
- ・グループディスカッションは他のグループの話声が聞こえてくるのでグループの話がよく聞き取れなかったので、グループ別に部屋を別にしてやった方が集中した意見が出るのではないかと思います。
- ・身近な議員さんと機会があれば意見交換したいと思います。
- ・良い意見交換ができたと思います。
- ・いろいろな意見を聞いて良かった。
- ・グループ討議が良かった。
- ・意見を言う人が決まってしまう。
- ・次回は各組内にも住んでいる外国人の問題をテーマに入れてほしい。
- ・専門性の高い話題になりがちで、そのような話は個人的に対応してほしかった。
- ・世代の違う方のご意見や考えを聞けました。
- ・もう少し具体的にしばった中で意見交換会を実施したらよいのでは、話の好きな人が話して終わった感じがする。
- ・初対面の方が多いい中、たくさんの意見が聞いて良かった。

【片岡】

- ・良く理解できた。
- ・少し時間が短かった。
- ・身近な問題のテーマ設定であった。

【北区】

- ・防災訓練、ぎゅっとカーについていろいろな意見が聞けた。
- ・時間をもう少し取っていただきたかった。
- ・討議内容では中身としては前進した話し合いができた。
- ・議員さんと意見交換ができてよかったと思います。
- ・議員さんが親身になって意見を聞いていただけて良かった。グループミーティングが良かった。
- ・いろんな視点から話し合うことができ、いろいろな意見を聞くことができ参加してよかった。
- ・台風15号関連で要望が多く出たことに議会として対応していただきたい。

問5 議会報告会や議会に対して、ご意見・ご要望があればご記入ください

【住吉】

- ・色々関心事が多く議会だよりをもっと目を通します。
- ・こういう報告会にもっと多くの方が参加できるように。
- ・令和9年度観光目標30万人達成の為、よりよい吉田町にして行ってほしいです。
- ・次回も参加したいと思う。
- ・できるだけ議会一般質問時は、傍聴する事を心掛けている。
- ・歳入歳出差額、毎年数億円はもっと必要なところに使うべきでは
- ・議員さんの一般質問に対して当局の回答が相変わらず「してゆきたい」「PRしてゆきたい」「適時適切に行っていく」が多い。やらないか先送りにすることがみえみえ。

【川尻】

- ・今後も継続してください。
- ・予想以上に参加者が多かったせいか話ができない方もいた。分け方が3グループでは少ないように思う。
- ・今回の竜巻の災害に対して、議員一人一人はどのような動きをしたのだろうか。
- ・2人欠け、少ない人数で議会運営大変かと思いますが、吉田町をもっとよりよい町にしましょう。
- ・どう変えたいのかわからない、どこをどう変えていくかが見えない。
- ・草刈りを業者をお願いする方向でやってほしい。
- ・議員の皆さんありがとうございました。
- ・もう少し詳細な説明がほしい。
- ・要望事項等への取り組みを早めに対応してほしい。
- ・町民が集まる場所に足を運んでください。
- ・町民一人一人がわかるような方法を考えてもらいたい。
- ・町や一般の方々の考えがわかってよかった。
- ・財政の使い方の検討が必要。(建物を作るより緑化)(ミストの設置)(木枝のバイオチップ化)

- ・展望台小山城の周りの散歩道の整備。
- ・道路の花壇を増やす、きれいにする。(花いっぱい。)
- ・グループで話し合うが他のグループの声が耳に入ってきて集中できない。
- ・グループ内での発言が聞きにくかった、グループごとに別部屋でやったらどうでしょうか。
 - 今後、会場の広さなど考慮し、議会の中で議論し対応していく。
- ・ある程度議会だよりを読めば理解できるので、議会報告会はなくてもいいが、その他のことは地区別でもっとつながりをもって解決してほしい。
- ・皆さんの話が出しやすいことを考えてほしい。Iさんをアドバイザーとして登用してほしい。
- ・議案の賛否に1名の方が参加されていないのはなぜですか。
 - 議長には法令の定めにより、表決権はありません。
- ・議会で議論したことがどのように生かされているのか。
 - 慎重な審議により、町民の福祉向上に生かされている。
- ・議会報告会は今後も必要と考えるので今後も開催を続けてほしい。みなさんが話すようにやり方を考えたらどうか。
- ・長く続けていくことが必要。
- ・このような機会を増やしてほしい。

【片岡】

- ・これからもこの報告会を開いて頂きたい。
- ・いろんな意見で町の企画に行動が伴わない、高齢者が多い為です。
- ・議会報告会報告書は読みます。

【北区】

- ・ぎゅっとカーの情報を必要としている人が知っていないと考えられるため、もっと町民に知ってもらえるような対応が必要と考えます。
- ・内容説明は大体理解できました。
- ・今後、地域の皆さんが気軽に参加できる会になるといい。
- ・とても皆さんからの意見がたくさん出て、こういう意見交換は大事だと思いました。
- ・9月5日の竜巻被害があり、町外に人とはいえ、一人亡くなっている。最初に10秒でいいから黙とうしてほしい。数日前に静岡朝日テレビで「ろうと雲の下で」という番組をやった。竜巻の動きが時系列で表わしてあり竜巻の動き、方向、被害が良く分かった。「永久保存版」として残してほしい。(役場として)
- ・防災意識の低さが問題。
- ・行政報告より意見交換の割合を多くしていただきたい。



報告会でいただいた意見やアンケートに対する問いに対し、報告会でお答えした答えは赤で表記しています。町からいただいた回答は青字にて、県からの回答は緑字にて載せてあります。

2 質問・意見のまとめ

(1) 報告に対する質問・意見

【一般会計決算報告について】

①住吉

- ・自主財源が62.5%は住んでいて豊かさを感じる。健全でほっとしました。安心しました。
- ・自治会に4割の人が入っていない。入ってもらうよう努力が必要ではないか。
- ・外国人の数、人口28,000人で3,000人9%占めるが、大きな問題はないのか。

②川尻

- ・ふるさと納税について。財源として組み込んだものの決算内訳は。しっかりチェックしているか。

→ 全国各地から、総額1,299,415,300円の寄附があった。使用されなかった残金は基金に積み立てられる。

シーガーデンシティ構想	150,574,000	円
災害に強く安全・安心・まちづくり	147,524,100	円
自然と共生するまちづくり	101,553,000	円
産業振興のまちづくり	54,117,500	円
多様な交流を生むまちづくり	32,903,500	円
誰もが健康で生き生きとくらせる	74,182,600	円
次代を担う心豊かな人を	223,961,600	円
行政と住人が一体に・まちづくり	13,446,500	円
町長にお任せ	501,152,500	円

- ・町民税の収納率を上げるために給料からの引き落としの人を増やすとあるが若年者が多いのか。効果がある策か。

→ (町の回答)滞納者に関して、特徴的な年齢層があるとは認識していない。給料引き落とし(特別徴収)の会社が増えれば、会社から確実に町民税として支払われるので、町の税収アップにつながることは明白である。今後も特別徴収の会社を増やすべく努力する。

- ・シーガーデンシティ構想のインター入り口ターミナルについて、下りバス停側に小規模の売店、お手洗いなど、何か施設を入れる予定があるのか、気になりました。

→ (町の回答)上り、下りそれぞれに待合所、トイレを設置する予定である。それに加え、賑わいの空間としての活用も検討していく。

③片岡

- ・令和6年度決算でなぜ余る財源が発生するのか。その財源の用途は。
- 入札差金や、予定した事業が事情により行われなかったこと等による。
- ・下水道料金が上がっていくと聞いた。予算が余っているなら、下水道料金を上げないで、一般会計から入れてもらいたい。
- ・児童クラブの予算がないということで、子ども関係予算が減らされている。

④北区

- ・黒字決算なら町民税を安くしてほしい。
- ・農林水産費の内訳を知りたい。
- 農業振興費、担い手作り、港の維持管理費などに使われている。
- ・自主財源が多いと何が良いのか。
- 予算の自由度が上がるし、投資的経費として使い易い。
- ・歳入歳出差引額の9億5,000万円は使う必要は本当になかったのか。

【委員会報告等について】

総務文教常任委員会

①住吉

- ・生まれた子から90歳までの幅広い年齢の方が避難所に集まる。運営は大変だと思う。
- ・隣組の常会が少なくなり、自主防災会も高齢になり、関係が希薄になってきている。
- ・避難所が開設されたら、いつまでいられるのか。
- だいたい1カ月くらいで、その後行き先が決まってくるなどの状況の変化がある。

②川尻

- ・なし

③片岡

- ・吉田町に如何に留まってもらうか、如何に泊まってもらえるかが課題と考える。そのための施策を実施して欲しい。

④北区

- ・なし

産業建設常任委員会

①住吉

- ・なし

②川尻

- ・なし



③片岡

- ・信号機横の標識、地名がはがれてわかりにくい。外から来た人にも分かりにくい。
- ・景観の観点から、湯日川の除草が不十分。何とかして欲しい。

④北区

- ・吉田インターバスターミナルの開発の詳細を知りたい。
- 配布資料にて説明。
- ・北区には飲食店が無いので飲食店を出店する予定はないのか。

(2)意見交換

A 夜間の防災訓練について

①住吉

- ・開催時間が変わっただけ。津波避難タワーへ行った。
- ・集まっただけだった。津波避難タワーへはバラバラで、上った人と上らない人もいた。
- ・看板に電気が無かった。避難タワー暗いね。
- ・自力で歩けない人の移動をどうするか。家にいた方が安心ではないか。
→ (町の回答)要配慮者の調査を民生委員が行い、避難計画を作成する活動をしている。個別避難計画や支援者の計画がある。
- ・海の近くでどう逃げるか、津波が来たら逃げられない。あきらめないで助ける方法を出し合い、助けたい。
- ・助ける人と共倒れになる。
- ・防潮堤を高くするしかない。人を担いで逃げることは難しい。
- ・原発事故で何十万人も逃げるのは不可能。原発事故から逃げなくてもいいようにしなくては。
- ・タワーは防潮堤ができれば必要ないのか。
→ (町の回答)避難タワーは必要である。防潮堤は津波を防ぐことを目的としている。命を守るためには、まずは避難タワーへ避難を。
- ・住吉は人口が減った。
- ・坂口谷川の水門では安心できない。
- ・夜間訓練は慣れが大事。暑さ・風・寒さなどの対策が必要。
- ・避難所への看板などが必要、予算がないではだめだ。
- ・どこの避難タワーに行けばいいのか。
→ 近くの避難タワーへ行く。海側ではなく、山側を目指す方が良い。

②川尻

- ・懐中電灯も持っていない人が多い。(スマホを代用)
- ・高齢者には夜間は危ないので、参加しない人が多い。
- ・やっても意味が無い。避難訓練の為の訓練。

- ・町のやり方に沿って行われた訓練だった。
- ・防災訓練について今後考える必要がある。(真剣に考えているからこそ)
- ・最終的な避難場所へ行かないで、隣組で集まっただけ。
- ・避難タワーの下へ集合しただけのいつものやり方。
- ・今回の避難訓練は安否の確認が目的だった。
- ・無線の感度が悪く使えなかった。
- ・参加しない理由に「家族で一人出れば良い」。
- ・災害を受けた経験が無いので意識が薄い。意識を高めることが必要。
- ・参加を強制できない。
- ・保育園の経営者より。カムチャツカ半島からの津波警報で避難したが、解除され帰宅後晩御飯を食べた。解除されないときの対応について役場に問い合わせたが、いまだに返事が無い。この時のような実際の経験を生かしてほしい。
- ・参加しない人の対応はどうするのか。
- ・要介護の方、高齢の一人暮らし方などの避難をどうするのか。決めごとは無いのか。
- ・要介護者や高齢者を隣組で把握して欲しいが、隣組で集まることが無いので難しい。
- ・みんなで助け合うことが大事。(発電機、井戸水など町内会長が把握しておく必要がある)
- ・津波の来る方へ向かって避難するのは難しい。
- ・川尻会館ではなく、中央小へ避難することは出来ないか。
- ・(地震関連の行政に携わっていた方より) 夜間の避難訓練であったが、集合した人数を確認にして解散では訓練にならない。夜間避難訓練は重要であるが、方法を考えないか。
- ・(阪神淡路大震災を体験した方より) 未明に突然起きた地震で、目が覚めて何をしたらよいか考えられなかった。夜の逃げ方を考えるべきではないか。
- ・(ホテル勤務の経験者より) 地震時のホテルの防火シャッターはすべてが閉鎖し、景色が変わり方向が分からなくなる。いろいろな状況を想定した訓練が必要と考える。
- ・夜間避難訓練は重要であると考えますが、地区には地区の想定されるものがある、地区ごとに想定される訓練をするべきではないか。
- ・避難場所になっている川尻会館の屋上への階段は、狭すぎていざというときに支障が出る。
- ・避難タワーができたことにより、住民の意識を変える必要がある。
- ・避難の課題を見つけて、意識改革をしなければならない。
- ・避難の考えが変わった、対応することを考えなければならない。

③片岡

- ・町に蛍光ベストの貸し出しを要望したが、「無し」との返事。しかし、再度要望したら「有る」との返事。聞く人によって返事が異なるのは問題。
- ・夜間に災害が起きた場合に備えて、蛍光ベストの自治会への配布を希望。
- ・夜間訓練について、町からの注意点は無く、各自主防災会任せであった。町はしっかりとした町の考えを示すべき。
- ・第一避難場所を知らない組長や町民がいた。常会を行う組が減り、回覧やLINEでの連絡だけでは周知が難しい。組のコミュニティに課題を感じる。
- ・実際に災害が起きた時、高齢者や障害者をどのように救えば良いのか。
→ (町からの回答) 要配慮者の調査を民生委員が行い、避難計画を作成する活動をしている。個別避難計画や支援者の計画がある。
- ・町は訓練の想定をより詳細に決めて欲しい。想定によっては、組長や組の防災組織が第一避難場所に来ない家庭の生存確認を行う訓練が有っても良い。
- ・組の防災組織が登録のみで各人自覚がない。このことを町はどう考えているのか。
→ (町からの回答) 自主防災会を中心に関係者がその役割を理解し、自分のこととして捉える。
- ・実際起こった時と、訓練の内容がかけ離れているように感じた。人数把握が目的になっているのでは。本来の防災訓練の目的がよくわからない。人に訴える目的の訓練をしたほうがよい。
- ・夜間訓練をなぜ行うのかの広報活動がなかった。
- ・夜間避難をしなくてはならない時のために、何人避難してくるのか、流れを作るなどのはひとつの安心材料となる。
- ・枕元にライトを常備する。
- ・場所によって避難方法が異なる。(山の上は、一度外へでて火事などでなければ大丈夫と判断し家に戻る所もある。)
- ・安全を第一に怪我をしないようお願いした。夜にやるのはリスクがある。町が総合的な対応をした方が良いという意見もあった。
- ・昼間より夜間は気温が下がったが、熱中症対策、高齢化で訓練の意味があるのか疑問に思った。
- ・しらさぎ団地は川をまたいで避難するが、その地域の地域性の避難の方法がどうなのか、疑問である。
- ・家の電気をつけたまま、避難訓練に参加した。ライフラインの電気が消えていることを考えるとライトを家に置いとくのは大事。ためになった。
- ・ヘッドランプも備えていた方が良いと感じた。
- ・今回は一次避難場所で解散したが、一次から二次避難場所の片岡会館へ避難することも必要。
- ・時間の制限もあった。20時すぎに報告する宿題があった。
- ・MCA無線機の信頼性が疑問。片岡会館内で場所によって、アンテナレベル

が安定しない。

- ・しらさぎ団地は夫婦2人が多い。避難場所に行けないと思っている。
- ・訓練日は毎年暑さが大変で、8月は無理かと思う。開催時期を考えた方がよい。
- ・行動の意識付けで、2～3年は一次避難場所までの訓練でもよい。

④北区

- ・災害は何時起こるか分からないので、夜間行ったことは評価できる。
- ・事前の訓練に対する説明やアピールが少なかったため、事前の訓練内容のイメージがつかめなかった。
- ・無線が聞こえにくかった。
- ・無線が入ってから避難を開始して、集合して人数チェックをして本部に連絡を入れるという手順だったので、いつもの訓練と変わらなかった。何か工夫が欲しかった。
- ・夜だと炊き出しが出来ないけど、どうしたらよいか。
→ (町の回答) 日程及び重点項目を町が設定し、訓練内容は自主防災会で考える。
- ・参加者が少なく、防災の意識の低さを感じた。
- ・今回も一次避難所まで行き、人数確認して本部に連絡して解散となったが二次避難所まで行くことが大事ではないか。実用的な訓練にしたい。一次避難所は不要ではないか。
- ・本部への連絡方法は無線にこだわらず携帯電話を使う方法も検討してみたらどうか。
- ・要支援者はどうするのか対策を検討しておく必要があると思う。
- ・組内のコミュニケーションが不足していて訓練の参加者が少なかった。
- ・ただ逃げただけの訓練。
- ・訓練のための訓練で、現実に即していない。
- ・小中高生の夜間訓練の参加には、特に帰り道に不安がある。
- ・準備するもの、あったら良いものなど、経験者しか分からない部分を教えて欲しい。
- ・有事の際にこの訓練で大丈夫か、無事に避難所に行けるのか。
- ・参加者の水増しとか、訓練時間開始前から集合場所に待機しているとか、個々の意識が低い。
- ・有事の際には町内会長など、リーダー不在の状況もあり得る。
- ・夜間の訓練をすることで、昼間の訓練で行っていたことをやらなくなったが、それで良いのか。
→ (町の回答) 日程及び重点項目を町が設定し、訓練内容は自主防災会で考える。

- ・訓練の意味が分からない、全員が集まらないとおかしい。(一部の人ではだめ)
- ・高齢者はどうなるのか、動ける人だけでは問題点が出てこない。
- ・津波を考えていないので時間的余裕がある。
- ・訓練の時間を延ばして避難所運営や消火訓練も必要。
- ・バスターミナルは避難者を受け入れる場所としても考えてほしい。
- ・昼には訓練の時間がとれるが夜は時間が限られる。
- ・夜の訓練は世帯主が家族の状況を報告する方法もある。
- ・牧之原市は10年前からやっている。問題点を出してバージョンアップした方がいい。

B “ぎゅっと”カーよしだについて

①住吉

- ・登録してある。(8人中4人)
- ・まだ車に乗れる。
- ・病院帰りの時間、ぎゅっとカーは出払っていた。電話したら50分待ちとのことだった。1人だと待とうと思うが、2人だとタクシーで帰ってくる。
- ・車に乗っているからまだ実感がない。
- ・さわやかクラブに集まる人は車をつかえる人。
- ・停留所まで歩けない人もいる。
- ・停留所を増やすことも必要。
- ・まず登録すること。
- ・老人会に説明に来てほしい。
- ・スマホのやり方を教えてほしい。



②川尻

- ・Aグループで、登録者は13人中1人しかいない。利用者も1人。
- ・Bグループで、16人中利用者が1人しかいない。
- ・Cグループで、登録者及び使用したことがあるのは1人。
- ・便利だったが、待ち時間があつた。
- ・すごく便利。(時間的にすいている時間帯だった)
- ・免許があり自分で運転できるので必要としていない。
- ・登録制度を知らない。
- ・予約の時間に自分の時間が制約される。(現在、即、動けるので)
- ・近隣市町でもやっているが、この吉田町の方法が良いのかわからない。
- ・町外の目的地へも行ってほしい。
- ・利用者の意見で、出された良い意見をPRしたら利用者が増えるのでは。(良いところだけを)
- ・ぎゅっとカーは免許証を返納した人達の為と思われている。

- ・子どもたちの利用（塾などへの送り迎え）を実施したら、子育て世代には大変喜ばれると思う。
- ・夜間の時間に欲しい。
- ・帰りの時間の利用をもっと便利にして欲しい。
- ・車の台数を増やして欲しい。
- ・PR不足。
- ・予約時間を、足の悪い方のために、もっと余裕ができないか。
- ・町のアンケート結果とは全く違う、調査方法を変えて実施すべきである。

③片岡

- ・使い方が分かれば、使い勝手あり。
- ・停留所の増加を望む。
→ 要望を出せば、町は警察等との検討を始める。
- ・吉田中学校の部活で野球部とサッカー部が牧之原の中学校と合同チームを作り練習している。その子供たちの送迎にぎゅっとカーは使えないか。
- ・65歳以上でスマホ等での予約は2～3割。スマホ等での予約の仕方の講習を実施して欲しい。
- ・停留所を示すステッカーが目立たない。もっと目立つようにして欲しい。
- ・1名登録されていたが、まだ利用したことはない。牧之原市に通院しているが榛原病院ではない。榛原区内でも広げてくれると利用しやすい。
- ・登録しているが使ったことが無いのでわからない。

④北区

- ・自分で車を運転して移動出来るので必要性を感じていない。
- ・帰りの時間が気になって不安になってしまうので使いづらい。
- ・土日の夜は遅くまでやって欲しい。
- ・停留所が遠く、高齢者が使うには大変。
- ・帰りの時に、その道路沿いに家があっても、降りられない。
- ・利用したが時間にこなかった。
- ・ラインでの登録がいい。
- ・飲み会の送迎に利用できたらいい。
- ・だいたい一人しか乗っていない、ランニングコストを考えると軽四でもいい。
- ・補助金頼みでなく将来を見据えてやってほしい。
- ・知らなかった。必要としている人に知らせてほしい。

(3)自由意見

①住吉

- 1 議会だよりについて
 - ・議会に関心を持つようにします。

- ・大事なことではあるが、関心あるが、議会だよりは見ない。
- ・議会だよりを読むようにしている。

2 その他

- ・津波さえなければ、吉田町は最高。
- ・カムチャツカ地震の時、(避難所を)遅く開設して、早く閉じた。
- ・常会をやっていないところが多いのか。
 - 3カ月に1回常会を開催の組もあれば、回覧板をまわすだけの組もある。

②川尻

1 草刈りについて

- ・川の土手の草刈りが出来ていないので、草が木になっている。
- ・土手などの草刈りが予算的に厳しいのであれば、みんなからお金を集めてでもしっかりやって欲しい。

2 台風被害について

- ・竜巻の被害の復旧のための予算は。
 - 予備費と補正予算など約3億円で対応。

3 公園の管理について

- ・西の宮公園や湯日川親水公園など、草ぼうぼうで子どもが遊べない、遊具も少ない。
- ・多目的公園や湯日川親水公園などに人がいない。作ってくれたなら人が集える場にして欲しい。

4 道路管理について

- ・道路の白線が消えている。
 - 道路のセンターラインなどの白線は町や県が、横断歩道は警察の管轄になるが、該当する場所を土木要望として町に出してほしい。
- ・通学路にもなっている交差点に水が溜まる。
- ・ダンプ等が通る道は、デコボコに凹んでいて、水が溜まっている。

5 その他

- ・保安林の松林にシロサギが巣を作るので、糞で真っ白になる。綺麗にして欲しい。
- ・夏が暑くて外で遊べないので、子どもが遊べる屋内施設が欲しい。

③ 片岡

1 草刈りについて

- ・堤防の草刈りを予算がないと言ってあまりしてくれない。予算本当にないのか。
 - 組長を通して草刈り依頼をし、組長から自治会へ、自治会から町へ依頼される。皆さんから声を出すのは大事。LINEの町民レポートで報告すると対応してくれる。
- ・住民からのクレームもあり、草刈りを自治会に通して頼んだが、町の回答は「努

力します。」で毎回同じ。

- ・どこ見ても草が生えている。予算があつてお金があれば、造園業者さんに草刈りを頼んではどうか。防災にもつながるので、やってもらいたい。
- ・昨年に比べ、草の伸びがすごい。草刈りが追い付かないのも事実。
- ・湯日川の法面の整備を真剣に取り組んでももらいたい。
- ・図書館の湯日川側の雑草がひどい。何とかならないか。

→ (町の回答)自治会から土木要望として町へ出し、県土木に挙げているが、予算等を理由に実施されていないのが実情。引き続き要望していく。

(県からの回答文)河川敷地内の除草は、維持管理予算が限られていることから緊急性や必要性を判断し、優先順位を付けて対応せざるを得ない状況です。このため、浚渫や護岸補修、伐木・伐竹など治水上問題のある箇所を優先し、特に堤外地側の除草は、親水公園や消防用通路など、安全確保が必要な箇所以外は行っておりません。河川敷地内の除草については、他の地域の皆様からも多くの御要望を受けておりますが、上述のことから全ての御要望に対応できていないのが現状です。なお、県では、リバーフレンドシップ制度を活用し、地域の皆様の御理解をいただいた箇所については、河川美化活動に御協力をいただいております。令和7年11月末現在、島田土木事務所管内では254団体と同意書を締結しております。

(※県から送られてきた会と文章を転記しています。)

2 台風災害について

- ・台風15号で100mm/hの雨が1時間半くらい降った時、西の宮川があふれそうになった。このような雨が数時間降ればあふれてしまう。昔は田んぼだったので、バッファーになったと思うが、今は住宅地で被害は大きくなる。対策はないものか。

→ 湯日川流域治水対策計画(県)で、近年に床上浸水被害が発生した河川を対象に概ね10年間でハード対策を計画している。

- ・下片岡でわが家の1km以内には内科、眼科、歯科、皮膚科など診療所が多い。吉田町に人を呼ぶアピールにならないか。
- ・罹災証明書の申請をしたが証明書をもろうまで一週間くらいだった。
- ・自分も被災したが、町内会長だったため、担当ブロックを回り被害の度合いを確認して応援者に伝えたが「住所は、罹災証明書申請は」と細かいことを聞かれ困った。

自分ができることはない。町へ〇〇組として提出したが社協ボランティアセンターへは伝わっていなかった。

- ・社協ボランティアセンターへのボランティアの登録はスマホでスムーズにできた。

3 都市計画マスタープランの説明について

- ・都市計画マスタープランにおいて片岡地区は昔から同じことが書かれている。つまり、片岡地区の開発は進んでいない。町は考えて欲しい。
- ・湯日川の話はあったが、草刈りなどの話はあまりなかった。
- ・大雨の時、支線川からの水が湯日川に流れ浸水の課題がある。
- ・湯日川土手の環境が悪い。土手内外 1mを町が管理しているが、川側とは反対側法面が整備されていない。4月に整備されていれば5月の環境美化活動がスムーズに行える。
- ・小山城周辺を気持ち良く利用できるようにしてほしい。
- ・小山城大手門側昇り周辺（北側）の環境整備できていない。
- ・小山城を最初造った時、散策路と示されていたが、今は通れない程、環境整備ができていない。

4 その他

- ・7月30日のカムチャツカ地震で午前9時にスーパーマーケット2階駐車場に車で避難した。町が出した警報が解除されるまで車の中で待っていた。
- ・台風15号は雨ばかり気にしていたが、竜巻で建物や倉庫がやられた。
- ・片岡会館は土砂災害警戒区域のため開放したが、竜巻被害者のための暑さ対策で1週間開設していた。午前9時から自治会が、午後5時から町職員で対応した。
- ・公園が出来たときはきれいだけど、30～40年経つと木も高くなり、地域の人では刈れない。
- ・防犯カメラ、町で設置している所はあるのか。
 - （町の回答）（役場設置）役場庁舎南駐輪場、総合体育館駐輪場、中央公民館駐輪場、片岡会館駐輪場、吉田町役場玄関、水防センター、展望台小山城、しらすのまどぐち、バス待合所兼観光案内所に各1台、オアシス館3台、中央児童館2台、吉田町図書館に8台。
 - （自治会設置）川尻会館前、はあとふる前、オアシス館北西に各1台。
- ・ぎゅっとカーよしだ 中央小学校付近にバス停をつくってくれと要望したが、結果はいかがか。
 - （町の回答）中央小学校の入り口近くに町有地があり、現在協議中であるため許可がおりれば停留所にする予定である。

④北区

1 公園の管理について

- ・委託事業者の金額は上がっているのに、仕事が出来ていない。チェック体制はどうなっているのか。
 - （町の回答）管理業務委託料として、樹木剪定 30 本、寄植刈込み 290 m²、生垣刈込 39m、芝刈り 4, 180 m²他等を業者に発注し、完成検査も行っている。

2 台風災害について

- ・防災時の廃材の運搬車の設置を町でお願いしたい。
→ 台風15号の時は町民からの要請によりボランティアが廃材などを軽トラックにより運搬処理した。
- ・竜巻の被害の片づけを、社協の方が親切にやってくれた。
- ・牧之原市は、台風などの被害の経験があるので、役場も事前に様々な情報や対応のノウハウなどを得ておく必要があった。

3 その他

- ・蛍光灯などを町で回収して欲しい。
- ・ゴミ袋の大きさが半分くらいの物とか、大中小など何種類か欲しい。

